

BSデジタル放送用受信機

厚井裕司*
菅 隆志**
泉 丙完**

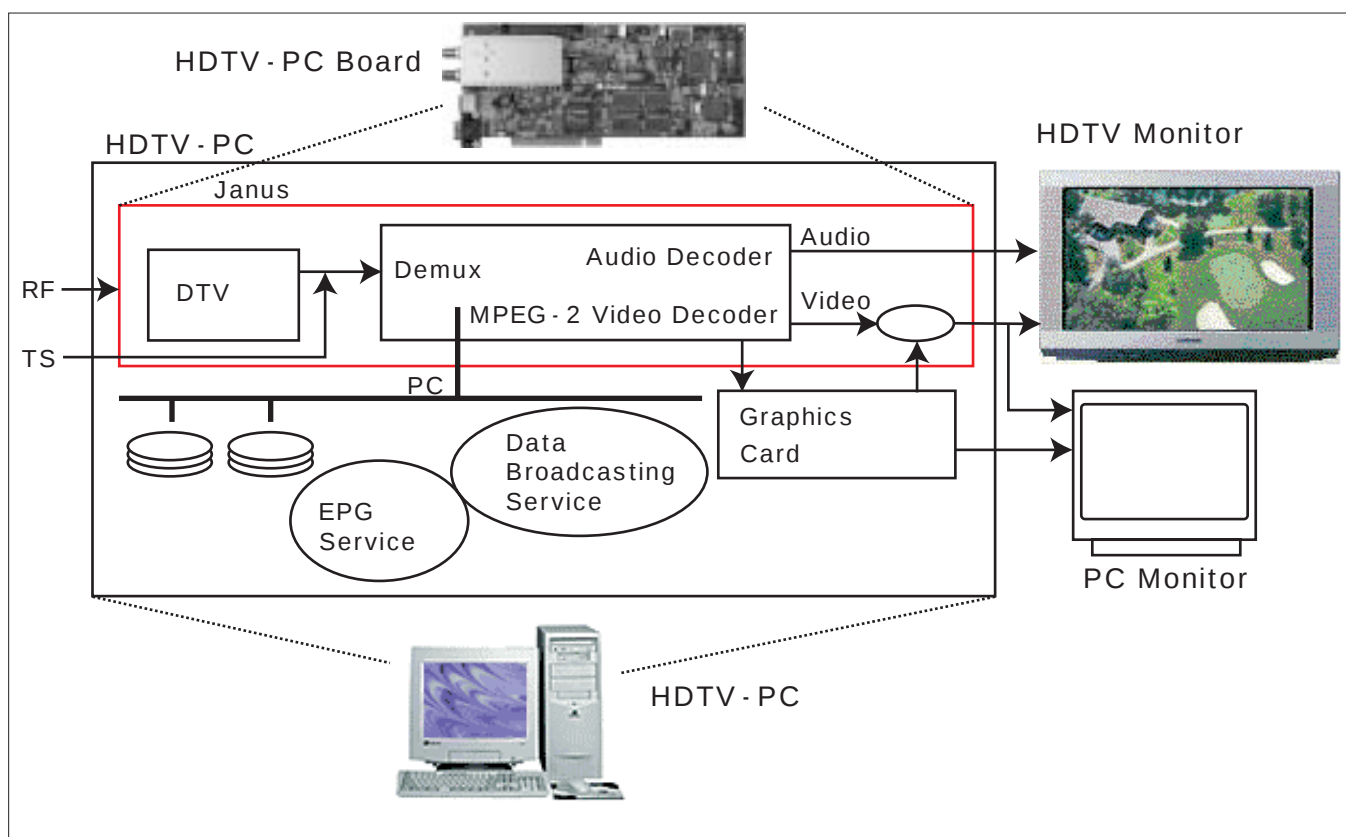
要 旨

デジタル放送では映像や音声処理の基本機能以外にEPG(Electronic Program Guide : 電子番組案内)やデータ放送を処理する拡張機能が要求されるが、これらすべての機能をTV上に実現することは大きな負担となる。

三菱電機では、映像 / 音声処理の基本機能をパソコン(PC)の付加ボード(PCI)としてコンパクトにまとめ、その他の拡張機能をPC側で処理することにより、PC上で安価な拡張によってBSデジタル放送を受信できるPC型BSデジタル放送受信機(以下“HDTV-PC”という。)を開発した。TV放送とPC用では画面サイズや走査方法が異なるが、HDTV-PCではいずれにも対応できるため、個室のPCモニタとリビングルームのDTVモニタのいずれでも

HD映像を楽しめる。特に、PCモニタ(順次走査)での近距離でのHD映像は、小画面ながらその高精細さから従来のTV映像とはやや異なる感覚で感動を伝えることができる。

さらに、PCの標準機能を活用して、EPGやデータ放送のほか、双方向、ソフトウェアダウンロード、ホームサーバ、電子商取引(EC)などの拡張機能をソフトウェアの追加によって実現することができる。これらのサービス内容は、現在新規データ放送局を含め各放送局が検討している段階であり、今後も機能を更に拡張していくことが予想される。このような拡張サービスに早期に対応していくためにはHDTV-PCのようなアプローチが必要となる。



HDTV-PCの構成

HDTV-PCは、RF信号を受信し映像 / 音声をデコードするHDTV-PCボードと、PC上でEPGやデータ放送サービスを行うソフトウェアで構成される。HDTV-PCボードからの映像出力は、直接HDTVモニタ等に出力することも、PC上のグラフィックカードによってPCからのデータ出力とマージし出力することも可能である。